

旧柏崎小学校跡地広場整備事業について

1 整備方針

ユネスコ無形文化遺産「山・鉾・屋台行事」の一つであり、日本を代表する山車祭りである八戸三社大祭の振興と伝承のために山車を制作することができる場として、また、これまで小学校が担ってきた地域コミュニティの拠点に代わる新たな場として、そして、中心市街地における滞在の快適性及び魅力向上のための市民や観光客が憩い集える場としての役割を担うことを目的に、旧柏崎小学校跡地に八戸三社大祭山車展示・制作施設[※]と公園の機能を備えた広場を整備する。

※山車制作過程の見学や制作体験、お囃子の体験などができる山車小屋として整備することから、上記名称とするもの

2 整備内容

(1) 山車展示・制作施設

山車展示・制作施設6棟、倉庫兼休憩室6棟

| | 山車展示・制作施設 | 倉庫兼休憩室 |
|-----|------------|-----------|
| 床面積 | 1棟あたり約150㎡ | 1棟あたり約55㎡ |
| 構造 | 鉄骨造平屋 | 鉄骨造平屋 |
| 高さ | 約8m（開口部6m） | 約5m |
| 外構 | アスファルト舗装 | |

(2) 広場

多目的広場や公園施設、トイレなどを想定しており、今後、地域住民とのワークショップを開催し、広場に関する意見を伺っていく予定。

(3) その他

デジタル社会の形成に寄与する取組として、令和5年度は八戸三社大祭の運行動画や歴史紹介動画に加え、周辺施設紹介動画を記録撮影し、翌年度以降、中心市街地回遊時等に活用できるデジタルコンテンツとして制作し、展開する予定。

3 関連予算

(1) 山車展示・制作施設等（令和4年度3月補正予算その2） 665,000千円

○工事監理業務等委託料 9,009千円

○デジタルコンテンツ制作業務委託料 12,650千円

○工事請負費 643,341千円

※【内閣府】デジタル田園都市国家構想交付金を活用（補助率2分の1）

(2) 広場（令和5年度当初予算） 13,000千円

○委託料（ワークショップ開催等） 13,000千円

※【国土交通省】社会資本整備総合交付金を活用予定（補助率2分の1）

4 今後のスケジュール（案）

| 時期 | 内容 | 所要期間 |
|-----------------------|--|------|
| 予算措置後 | ○山車展示・制作施設建築工事 ○広場の整備検討に係るワークショップの開催等 | 約1年 |
| 広場ワークショップ及び基本設計の修正終了後 | ○広場実施設計 | 約1年 |
| 広場実施設計終了後 | ○広場整備 | 約2年 |

■平面図



■パース

